

歩これまでの展



三浦保彦展

三浦保彦展
 ネルソン・ドミンゴス展 カリブの神話と形象の世界
 速水史朗 ーこれまでそしてこれからー
 ラテン・カリブ現代美術 "TODAY" 展
 長谷川逸子建築展 "イン・プログレス"
 三浦美術館大賞展
 ルーシー・リー展 静寂の美へ
 ネルソン・ドミンゴス展 ー生命の光ー
 今日の人形芸術 ー想念の造形ー
 詩人たちの絵展
 愛媛大学教育学部美術科 卒業制作展 (04'ー09')
 備前焼作家 生陶泉啓 作陶展 ー炎と生えるー
 岡本太郎展 ー永遠の挑戦ー
 北欧のスタイリッシュ・デザインーフィンランドのアラビア窯展
 三浦 保彦 ー愛・夢
 第43回 朝日陶芸展
 松田征明展 ー新たな表現を拓くー
 ブライアン・ウィリアムズ展 ー心の原風景を求めてー
 池川直展 ー記憶のかけたちー
 濱田亨展 ー変貌の軌跡ー
 愛媛の現代工芸作家展 (1ー3回)
 川島猛展 ーLovely ニューヨークー
 第46回 日本現代工芸美術展
 東典男展 ー美・夢・現のはさまー
 奥定一孝展 ー私心目の目で見続けた風景ー
 ネルソン・ドミンゴス展 ー平安への祈りー
 古茂田公雄・不二展 ー自分にし、できないモノを求めてー
 ブラジル日本移民100周年記念ーブラジル日系画家100年の歩み展ー
 アントニオ・タビエス展 ーさあ、いっしょに考えよう。タビエス版画の世界ー
 米林雄一展 ー微空からの波動ー

2009 4月11日 sat
 5月10日 sun

休館日／月・火曜日(5月4日(月・祝)・5日(火・祝)は開館)

開館時間／午前9時30分～午後5時(入館は午後4時45分まで) 入場料／一般500円、学生以下無料

主催／ミウラート・ヴィレッジ(三浦美術館)

共催／株式会社ミウラ 後援／愛媛県教育委員会、松山市教育委員会、愛媛新聞社、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛

ミウラート・ヴィレツジ これまでの歩み展



濱田亨 93-1 A~H

ミウラート・ヴィレツジが1998年4月に開館以来、早くも11年の歳月が経過しました。企業内の美術館ということもあり、この美術館建設を企画された三浦保氏収集の、多くの美術品を展示させていただくのが、この美術館の目的のひとつであつたのだと思います。従って当初より、それらの作品の展示に主体をおきながら毎週土、日曜日開館し、一年に一度くらいの企画展を入れ、ゆったりとした空間を楽しんでいただける場所として運営しておりました。その後、皆様からのご要望にお応えするべく企画展を増やし、それに伴い開館日も月、火曜日を除き開館させていただくようにいたしました。

昨年、開館10年目を目指して準備しておりましたタピエスの作品展を、何とか開催することが出来ました。が、節目として、これまでの企画展を振り返り、それらの中でポスター、図録などをご覧頂き、これからの活動の方向性をも考える機会に致したいと思ひます。

今年は三浦工業株式会社の設立50周年にあたります。機を同じくし、美術館においても、今までを振り返り、将来の展望を図るのは良いことと思ひます。企業における芸術文化に対する見方を、企業経営の中にしっかりと位置付けることにより、人材育成はもとより、それさえも包含する社会教育への関わりを持つ施設として、経済環境に則した今後の活動を考えるための展示会として、お越しの皆様にもご助言をいただく機会ともなれば幸いです。

この展示会のために、岡本太郎記念館のご好意により、「坐ることを拒否する椅子」を拝借することが出来ました。あのときの岡本敏子さんを思い出していただける方もたくさんいらっしゃるでしょう。いろいろな想いのこもった展示会です。今後ともご支援いただきますよう、宜しくお願いいたします。

ミウラート・ヴィレツジ 館長 白石省三



ネルソン・ドミンゴス 三つの時代の舞い



米林雄一 微潮音



川島猛 KALEIDOSCOPE

展覧会予告／ 三浦工業50周年記念 **三浦保展** ～人生を楽しむ～
2009年5月16日(土)～6月21日(日) 会期中無休



- ◆ JR松山駅より市内電車にて松山市駅へ伊予鉄バス北条行き内宮/バス停下車徒歩約10分
- ◆ 松山空港より車で約30分

MIURART VILLAGE
MIURART

ミウラート・ヴィレツジ(三浦美術館)

〒799-2651 愛媛県松山市堀江町1165-1
TEL 089-978-6838・FAX 089-978-0323
<http://www.miuraz.co.jp/miurart>
fvbm2360@mb.infoweb.ne.jp

駐車場: 30台 臨時駐車場(三浦工業(株)福角駐車場)をご利用いただけます。

※ 駐車台数に限りがございますので、なるべく公共の交通機関等をご利用ください。